

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年11月5日
【四半期会計期間】	第23期第2四半期（自平成25年7月1日至平成25年9月30日）
【会社名】	ブックオフコーポレーション株式会社
【英訳名】	BOOKOFF CORPORATION LIMITED
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 松下 展千
【本店の所在の場所】	神奈川県相模原市南区古淵二丁目14番20号
【電話番号】	(042) 769 - 1511
【事務連絡者氏名】	執行役員 野津 直樹
【最寄りの連絡場所】	神奈川県相模原市南区古淵二丁目14番20号
【電話番号】	(042) 769 - 1511
【事務連絡者氏名】	執行役員 野津 直樹
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第22期 第2四半期 連結累計期間	第23期 第2四半期 連結累計期間	第22期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	自平成25年4月1日 至平成25年9月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高 (千円)	36,990,024	38,747,122	76,670,937
経常利益 (千円)	902,340	281,469	2,366,143
四半期(当期)純利益又は四 半期純損失() (千円)	484,658	117,221	1,058,088
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	481,457	63,518	1,112,824
純資産額 (千円)	14,530,683	14,838,234	15,249,721
総資産額 (千円)	38,575,403	39,810,290	39,455,164
1株当たり四半期(当期)純 利益又は1株当たり四半期純 損失金額() (円)	26.33	6.29	57.30
潜在株式調整後1株当たり四 半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	37.7	37.3	38.7
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	337,289	146,799	1,863,687
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	1,080,798	814,095	2,190,849
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	34,171	644,845	905,828
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	5,068,549	4,616,387	4,630,796

回次	第22期 第2四半期 連結会計期間	第23期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成24年7月1日 至平成24年9月30日	自平成25年7月1日 至平成25年9月30日
1株当たり四半期純損失金額() (円)	2.66	9.05

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 第22期第2四半期連結累計期間及び第22期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 第23期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

5. 1株当たり四半期(当期)純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額の算定に用いられた普通株式の期中平均株式数は、ブックオフコーポレーション従業員持株会専用信託が所有する当社株式の数を控除して算定しております。

2【事業の内容】

当社グループ（当社及び当社の関係会社（子会社13社及び関連会社1社（平成25年9月30日現在））により構成）は、「事業活動を通じての社会への貢献」「全従業員の物心両面の幸福の追求」を経営理念とし、中古書籍等の小売店舗「BOOKOFF」を中心に、「リユース」を切り口とした小売店舗の運営及びフランチャイズ事業を行っております。

当第2四半期連結累計期間において、各部門に係る事業内容の変更と主要な関係会社における異動は概ね以下のとおりです。

（ブックオフ事業）

主な事業内容の異動、及び主要な関係会社の異動はありません。

（リユース事業）

主な事業内容の異動、及び主要な関係会社の異動はありません。

（パッケージメディア事業）

主な事業内容の異動、及び主要な関係会社の異動はありません。

（その他）

主な事業内容の異動はありません。

なお、当社は店舗型のビジネスに限定しない新たなリユース業を目的として、平成25年4月1日付で(株)ハグオーを新規設立、同社は当社の連結子会社となりました。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中における将来に関する事項は、当第2四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）業績の状況

当社グループは「ご家庭で不要となったものを、新しい持ち主のために役立てる」という「リユース業」を中核事業として、書籍・CD・DVD・ゲーム・アパレル・スポーツ用品・ベビー用品・雑貨等様々なジャンルのリユースに取り組んでまいりました。

今後も引き続き『ものを捨てたくない人が、捨てない生活をするためのインフラとしての役割を果たすブックオフ』＝『捨てない人のブックオフ』を事業ミッションとして、様々なもののリユースを通じて循環型社会の実現に取り組んでまいります。

このような経営方針の下、主力の「BOOKOFF」に加え、総合リユースへの事業拡大を目指し、大型複合店「BOOKOFF SUPER BAZAAR」と中型複合店「BOOKOFF PLUS」を当社グループの中核パッケージとして出店とリニューアルの促進を図っており、当第2四半期連結累計期間において、「BOOKOFF」単独店を4店舗、「BOOKOFF SUPER BAZAAR」を2館出店した他、既存の「BOOKOFF」の「BOOKOFF PLUS」へのリニューアルを1店舗行いました。

当連結会計年度は、引き続き主力の「BOOKOFF」において、来店機会の創出による販売客数の向上を重点課題として、仕入の強化に加え、5月にチェーン統一の販売キャンペーンを実施し、TVCMやチラシ等販売促進を継続してまいりましたが、販売客数の維持効果としては十分に奏功せず、「BOOKOFF」既存店の売上高は前年同四半期に比べ減少しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高38,747百万円（前年同四半期比4.8%増）、営業利益12百万円（前年同四半期比98.2%減）、経常利益281百万円（前年同四半期比68.8%減）、四半期純損失117百万円（前年同四半期は四半期純利益484百万円）となりました。

四半期純損失となっておりますが、これは経営体質の強化を図るため業績不振の「BOOKOFF」店舗の閉鎖を決定したこと等による特別損失を計上したことによるものです。

各セグメント別の売上状況は以下のとおりです。

（ブックオフ事業）

当セグメント第2四半期連結累計期間業績は、売上高26,732百万円（前年同四半期比3.4%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間の出店は、グループ直営店6店舗、FC加盟店3店舗となりました（閉店はグループ直営店3店舗、FC加盟店16店舗）。

既存店売上高は前年同四半期に比べ減少しましたが、新規出店やオンライン事業の売上増加が寄与し、増収となりました。

（リユース事業）

当セグメント第2四半期連結累計期間業績は、売上高6,478百万円（前年同四半期比18.5%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間の出店は、グループ直営店3店舗となりました（閉店はグループ直営店28店舗（同一建物内の複数店舗を1つの屋号に統合したことによる閉店27店舗含む））。

既存店売上高が前年同四半期に比べ増加したほか、新規出店による売上増加が寄与し、増収となりました。

（パッケージメディア事業）

当セグメント第2四半期連結累計期間業績は、売上高5,361百万円（前年同四半期比2.0%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間の出店はありませんでした（閉店はグループ直営店1店舗）。

(その他)

当セグメント第2四半期連結累計期間業績は、売上高175百万円(前年同四半期比14.9%減)となりました。当第2四半期連結累計期間の出店はありませんでした。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末に比べ14百万円減少し、4,616百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの変動要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は146百万円(前年同四半期は337百万円)となりました。これは税金等調整前四半期純利益83百万円、減価償却費1,003百万円、のれん償却146百万円等により資金が増加した一方で、たな卸資産の増減により資金が222百万円減少したこと、法人税等の支払額で816百万円減少したことが主な要因です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は814百万円(前年同四半期は1,080百万円)となりました。これは閉店等による差入保証金の回収157百万円に対し、新規出店等に伴う有形固定資産の取得774百万円及び差入保証金の差入109百万円POSシステムへの追加投資等による無形固定資産の取得89百万円が主な要因です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、資金は644百万円増加(前年同四半期は34百万円の減少)しました。これは長短借入金1,555百万円増加した一方で、長期未払金やリース債務の返済による支出537百万円、配当金の支払による支出464百万円が主な要因です。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

特記すべき事項はありません。

(5) 財政状態の分析

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は19,392百万円(前連結会計年度末は19,351百万円)となり、41百万円増加しました。業容の拡大に伴い商品が244百万円増加した一方で、その他流動資産が217百万円減少したことが主な要因です。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は20,417百万円(前連結会計年度末は20,103百万円)となり、313百万円増加しました。出店投資等により有形固定資産が414百万円増加した一方で、のれんの償却等により無形固定資産が105百万円減少したことが主な要因です。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債残高は24,972百万円(前連結会計年度末は24,205百万円)となり、766百万円増加しました。法人税等の納付により未払法人税等が564百万円減少した一方で、法人税等の支払いや剰余金の配当などの資金需要に対し銀行借入で対応したことから、借入金が1,555百万円増加したことが主な要因です。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産残高は14,838百万円(前連結会計年度末は15,249百万円)となり、411百万円減少しました。四半期純損失を計上するとともに、剰余金の配当を行ったことにより利益剰余金が581百万円減少したことが主な要因です。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	30,000,000
計	30,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在 発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月5日)	上場金融商品取引所名ま たは登録認可金融商品取 引業協会名	内容
普通株式	19,473,200	19,473,200	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	19,473,200	19,473,200	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高 (千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日	-	19,473,200	-	2,564,294	-	2,758,083

(6)【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名または名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総 数に対する所 有株式数の割 合(%)
株式会社ハードオフコーポレーション	新潟県新発田市新栄町三丁目1番13号	1,400,300	7.19
大日本印刷株式会社	東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号	1,283,000	6.58
丸善株式会社	東京都中央区日本橋二丁目3番10号	1,183,300	6.07
ブックオフコーポレーション従業員持株会	神奈川県相模原市南区古淵二丁目14番20号	1,169,253	6.00
カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社	大阪府大阪市北区梅田二丁目5番25号	1,146,000	5.88
株式会社講談社	東京都文京区音羽二丁目12番21号	833,300	4.27
株式会社集英社	東京都千代田区一ツ橋二丁目5番10号	833,300	4.27
株式会社小学館	東京都千代田区一ツ橋二丁目3番1号	833,300	4.27
株式会社図書館流通センター	東京都文京区大塚三丁目4番7号	750,000	3.85
ブックオフコーポレーション加盟店持株会	神奈川県相模原市南区古淵二丁目14番20号	413,118	2.12
計	-	9,844,871	50.55

(注) 上記のほか、自己株式が742,782株あります。

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 742,700	-	-
	(相互保有株式) 普通株式 35,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 18,685,800	186,858	-
単元未満株式	普通株式 9,700	-	単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	19,473,200	-	-
総株主の議決権	-	186,858	-

(注)「完全議決権株式(その他)」の欄には、株式会社証券保管振替機構名義の株式が400株含まれております。
また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数4個が含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名または名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
ブックオフコーポレーション株式会社	神奈川県相模原市南区古淵二丁目14番20号	742,700	-	742,700	3.81
株式会社ブックオフウィズ	香川県高松市六条町1205-1	35,000	-	35,000	0.17
計	-	777,700	-	777,700	3.99

(注)上記のほか、連結財務諸表において、自己株式と認識している当社株式が、15,500株あります。

これは、平成22年3月3日付で実施した野村信託銀行株式会社(ブックオフコーポレーション従業員持株会専用信託口)への自己株式843,400株の譲渡について、会計処理上、当社と信託口が一体のものであると認識し、信託口が所有する当社株式を自己株式として計上していることによるものです。

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,630,796	4,616,387
受取手形及び売掛金	1,085,791	1,114,565
商品	10,821,399	11,066,051
その他	2,813,513	2,595,736
貸倒引当金	3	3
流動資産合計	19,351,497	19,392,737
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,999,209	5,390,160
リース資産(純額)	1,993,028	2,073,573
その他(純額)	739,736	683,170
有形固定資産合計	7,731,974	8,146,905
無形固定資産		
のれん	795,077	678,760
その他	942,144	953,092
無形固定資産合計	1,737,221	1,631,852
投資その他の資産		
差入保証金	8,935,519	8,918,689
その他	1,782,426	1,783,946
貸倒引当金	83,474	63,840
投資その他の資産合計	10,634,471	10,638,794
固定資産合計	20,103,667	20,417,552
資産合計	39,455,164	39,810,290

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,000,255	912,961
短期借入金	4,560,000	6,030,008
1年内返済予定の長期借入金	3,171,768	2,964,280
リース債務	486,745	513,506
未払法人税等	890,430	325,453
賞与引当金	277,042	301,041
売上割戻引当金	52,067	128,768
店舗閉鎖損失引当金	57,218	109,314
その他	3,542,353	3,300,770
流動負債合計	14,037,881	14,586,103
固定負債		
長期借入金	6,439,885	6,733,329
資産除去債務	1,387,843	1,409,803
リース債務	1,480,528	1,519,758
その他	859,304	723,060
固定負債合計	10,167,561	10,385,952
負債合計	24,205,443	24,972,055
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,564,294	2,564,294
資本剰余金	3,098,903	3,098,903
利益剰余金	10,269,308	9,687,519
自己株式	503,054	386,454
株主資本合計	15,429,451	14,964,262
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,139	33,200
為替換算調整勘定	200,870	159,227
その他の包括利益累計額合計	179,730	126,027
純資産合計	15,249,721	14,838,234
負債純資産合計	39,455,164	39,810,290

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	36,990,024	38,747,122
売上原価	15,116,808	16,326,553
売上総利益	21,873,216	22,420,568
販売費及び一般管理費	¹ 21,156,715	¹ 22,407,588
営業利益	716,501	12,980
営業外収益		
持分法による投資利益	2,046	2,459
自動販売機等設置料収入	102,848	104,385
古紙等リサイクル収入	123,219	156,056
その他	107,419	121,007
営業外収益合計	335,534	383,909
営業外費用		
支払利息	113,697	104,292
為替差損	18,065	-
その他	17,933	11,127
営業外費用合計	149,695	115,420
経常利益	902,340	281,469
特別利益		
投資有価証券売却益	-	14,138
特別利益合計	-	14,138
特別損失		
投資有価証券売却損	29,236	25,241
店舗閉鎖損失	12,357	805
店舗閉鎖損失引当金繰入額	34,074	60,633
固定資産除却損	17,082	5,798
減損損失	62,903	120,096
特別損失合計	155,653	212,575
税金等調整前四半期純利益	746,687	83,032
法人税、住民税及び事業税	332,823	255,493
法人税等調整額	70,794	55,239
法人税等合計	262,028	200,254
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	484,658	117,221
四半期純利益又は四半期純損失()	484,658	117,221

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	484,658	117,221
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,911	11,477
為替換算調整勘定	9,735	41,642
持分法適用会社に対する持分相当額	14,446	582
その他の包括利益合計	3,200	53,702
四半期包括利益	481,457	63,518
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	481,457	63,518
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	746,687	83,032
減価償却費	975,717	1,003,774
減損損失	62,903	120,096
のれん償却額	166,822	146,653
賞与引当金の増減額(は減少)	3,937	23,999
貸倒引当金の増減額(は減少)	8,923	19,656
店舗閉鎖損失引当金の増減額(は減少)	34,074	60,633
売上割戻引当金の増減額(は減少)	-	76,700
支払利息	113,697	104,292
持分法による投資損益(は益)	2,046	2,459
店舗閉鎖損失	12,357	805
固定資産除却損	17,082	5,798
売上債権の増減額(は増加)	41,181	28,458
たな卸資産の増減額(は増加)	317,832	222,833
仕入債務の増減額(は減少)	104,642	88,027
未払金の増減額(は減少)	75,374	89,831
その他	285,273	113,036
小計	1,448,751	1,061,484
利息及び配当金の受取額	5,813	6,720
利息の支払額	113,910	105,768
法人税等の支払額	1,014,104	816,270
法人税等の還付額	10,739	633
営業活動によるキャッシュ・フロー	337,289	146,799
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	725,307	774,021
無形固定資産の取得による支出	159,985	89,290
投資有価証券の取得による支出	1,000	14,537
差入保証金の差入による支出	504,336	109,479
差入保証金の回収による収入	154,722	157,925
店舗譲受による支出	-	39,029
その他	155,108	54,336
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,080,798	814,095

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	383,336	1,470,008
長期借入れによる収入	2,200,000	1,750,000
長期借入金の返済による支出	1,614,884	1,664,044
長期未払金の返済による支出	383,917	261,400
リース債務の返済による支出	252,099	276,509
自己株式の処分による収入	92,039	91,358
配当金の支払額	458,645	464,567
財務活動によるキャッシュ・フロー	34,171	644,845
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,936	8,041
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	782,615	14,408
現金及び現金同等物の期首残高	5,851,165	4,630,796
現金及び現金同等物の四半期末残高	¹ 5,068,549	¹ 4,616,387

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、新たに設立した㈱ハグオールを連結の範囲に含めております。

(四半期連結貸借対照表関係)

当社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行13行と当座貸越契約を締結しております。この契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
当座貸越極度額の総額	11,420,000千円	12,550,000千円
借入実行残高	4,330,000	5,666,672
差引額	7,090,000	6,883,328

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
貸倒引当金繰入額	8,315千円	19,656千円
給与手当	2,224,722	2,284,684
パート・アルバイト給与	5,457,492	5,798,969
賞与	105,525	108,717
賞与引当金繰入額	299,499	296,804
地代家賃	5,328,125	5,803,266
賃借料	416,920	419,066

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	5,068,549千円	4,616,387千円
現金及び現金同等物	5,068,549	4,616,387

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成24年6月23日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	458,645	25	平成24年3月31日	平成24年6月25日

(注) 配当金の総額には、ブックオフコーポレーション従業員持株会専用信託に対する配当金9,615千円を含めておりません。これはブックオフコーポレーション従業員持株会専用信託が所有する当社株式を自己株式として認識しているためであります。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成25年6月22日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	464,567	25	平成25年3月31日	平成25年6月24日

(注) 配当金の総額には、ブックオフコーポレーション従業員持株会専用信託に対する配当金3,692千円を含めておりません。これはブックオフコーポレーション従業員持株会専用信託が所有する当社株式を自己株式として認識しているためであります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	ブックオフ 事業	リユース 事業	パッケー ジ メディ ア事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	25,846,797	5,465,482	5,471,162	36,783,443	206,581	36,990,024	-	36,990,024
セグメント間の内部売上高 又は振替高	194,950	141	253	195,345	59,855	255,201	255,201	-
計	26,041,747	5,465,624	5,471,415	36,978,788	266,437	37,245,226	255,201	36,990,024
セグメント利益又は損失()	1,884,773	158,467	69,604	1,656,702	3,881	1,660,584	944,082	716,501

(注)1. 「その他」は、「ブックオフ事業」、「リユース事業」、「パッケージメディア事業」に含まれない店舗の運営(屋内遊具施設を営むチェーン「KID-O-KID」店舗等)及び各事業の店舗の内装工事の企画・設計施工等を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,656,702
「その他」区分の利益	3,881
全社費用(注)	944,082
四半期連結損益計算書の営業利益	716,501

(注)全社費用は、主に当社の管理部門等に係る費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ブックオフ事業」、「リユース事業」及び「パッケージメディア事業」セグメントにおいて、営業活動から生じる損益が継続してマイナスの店舗で、今後も収益改善の可能性が低いと判断した店舗及び使用範囲の変更により回収可能価額を著しく低下させる変化があった店舗について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては62,903千円であり、セグメントごとの減損損失の計上額は以下のとおりです。

「ブックオフ事業」セグメントにおける減損損失の計上額は、57,480千円であります。

「パッケージメディア事業」セグメントにおける減損損失の計上額は、5,422千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	ブックオフ 事業	リユース 事業	パッケー ジ メディ ア事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	26,732,255	6,478,055	5,361,066	38,571,377	175,745	38,747,122	-	38,747,122
セグメント間の内部売上高 又は振替高	223,592	1,377	260	225,230	83,318	308,548	308,548	-
計	26,955,848	6,479,432	5,361,326	38,796,607	259,063	39,055,671	308,548	38,747,122
セグメント利益又は損失()	1,284,974	100,402	12,081	1,172,490	151,697	1,020,792	1,007,811	12,980

(注)1. 「その他」は、「ブックオフ事業」、「リユース事業」及び「パッケージメディア事業」に含まれない中古物品の買取及び販売、店舗の運営（屋内遊具施設を営むチェーン「KID-0-KID」店舗等）及び各事業の店舗の内外装工事の企画・設計施工等を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	1,172,490
「その他」区分の利益	151,697
セグメント間取引消去	24,276
全社費用(注)	983,535
四半期連結損益計算書の営業利益	12,980

(注) 全社費用は、主に当社の管理部門等に係る費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ブックオフ事業」、「リユース事業」及び「パッケージメディア事業」セグメントにおいて、営業活動から生じる損益が継続してマイナスの店舗で、今後も収益改善の可能性が低いと判断した店舗及び使用範囲の変更により回収可能価額を著しく低下させる変化があった店舗について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては104,295千円であり、セグメントごとの減損損失の計上額は以下のとおりです。

「ブックオフ事業」セグメントにおける減損損失の計上額は、87,618千円であります。

「リユース事業」セグメントにおける減損損失の計上額は、2,895千円であります。

「パッケージメディア事業」セグメントにおける減損損失の計上額は、13,781千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額()	26円33銭	6円29銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額 ()(千円)	484,658	117,221
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額()(千円)	484,658	117,221
普通株式の期中平均株式数(千株)	18,405	18,640
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	平成17年6月25日定時株主総会決議によるストック・オプション上記の新株予約権は、平成24年6月30日をもって権利行使期間満了により失効しております。	-

- (注) 1. 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
3. 1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額の算定に用いられた普通株式の期中平均株式数は、ブックオフコーポレーション従業員持株会専用信託が所有する当社株式の数を控除して算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成 25年10月31日

ブックオフコーポレーション株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 米 澤 英 樹 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 阪 田 大 門 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているブックオフコーポレーション株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ブックオフコーポレーション株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。